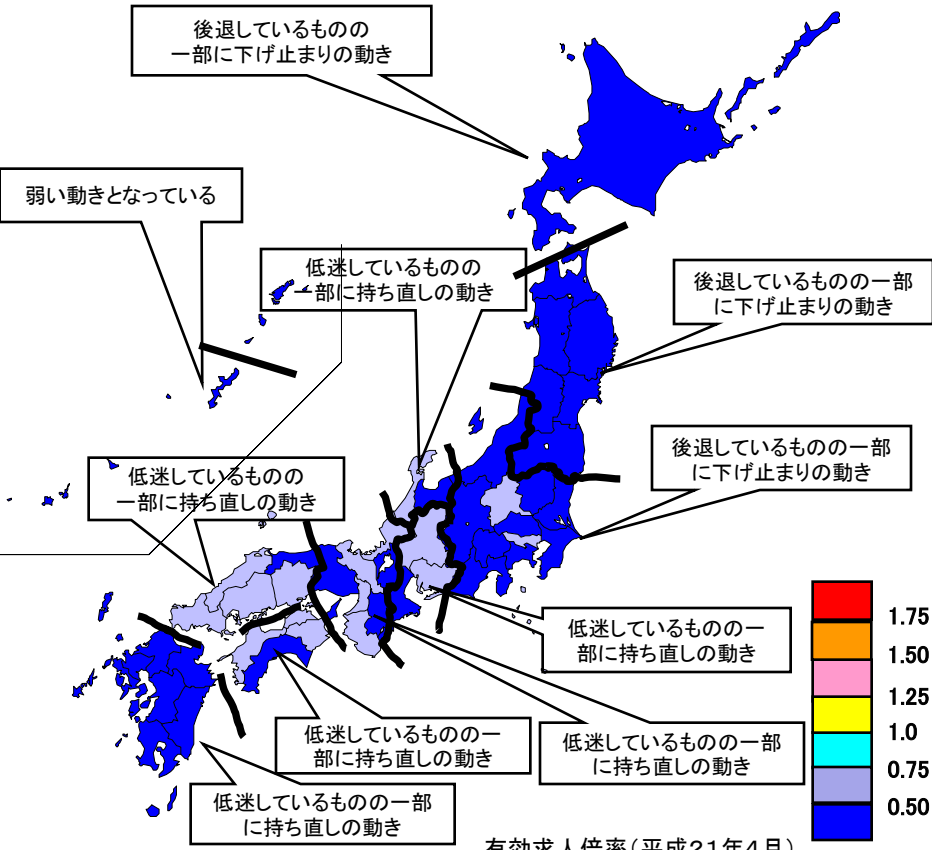


第28回地域経済産業調査結果の概要(全体総括)

各地域の景況は低迷しているものの一部に持ち直しの動き(9地域で上方修正)

～ 生産は一部持ち直し、雇用情勢は一段と厳しい状況 ～

	20年6月 (第24回)	20年9月 (第25回)	20年12月 (第26回)	21年3月 (第27回)	21年6月 (第28回)
全国	↘	↘	↘	↘	↗
	概ね横ばいで推移するも、一部に弱い動き。	ばらつきがあるものの総じて弱い動き	一段と弱い動き	後退	低迷しているものの一部に持ち直しの動き



	20年2月 (第23回)	20年6月 (第24回)	20年9月 (第25回)	20年12月 (第26回)	21年3月 (第27回)	21年6月 (第28回)	コメント	有効求人倍率※ 全国平均 0.46
北海道	→	↘	↘	↘	↘	↗	個人消費、設備投資など需要面の厳しい状況が続く中で、生産は一部に持ち直しの兆しがみえるものの、全体としては停滞。雇用はさらに厳しい状況。	0.32 (0.32)
東北	↘	→	↘	↘	↘	↗	業況は改善みられるも依然厳しい状況。生産は一部改善の兆しで下げ止まり、設備投資は減少、雇用は厳しい状況。個人消費は弱い動きが続き一部で厳しい状況。	0.34
関東	→	↘	↘	↘	↘	↗	業況は依然として厳しい。設備投資は減少、雇用はさらに悪化、個人消費はさらに弱い動き。生産は中国向けが増加するなど一部に下げ止まりの動き。	0.52
中部(東海)	→	↘	↘	↘	↘	↗	厳しい状況が続いていた生産には持ち直しの動き、輸出も下げ止まりの動き。設備投資には慎重姿勢、雇用は悪化が継続、個人消費も依然弱い。	0.49
中部(北陸)	↘	↘	↘	↘	↘	↗	業況は低調に推移。生産は一部に持ち直しの動き。設備投資は減少し、雇用情勢は悪化、個人消費は弱い動きが続いている。	0.50
近畿	→	↘	↘	↘	↘	↗	輸出はアジア向けを中心に持ち直しの動き。設備投資は一部に積極的動きもあるが弱い動き。個人消費も減少。生産は持ち直しの動きがあるも、雇用はさらに悪化。	0.51
中国	→	↘	↘	↘	↘	↗	個人消費は減少が続き、雇用環境も厳しさが増している中、生産では一部で外需向けに生産増となるなど、全体としては、低迷しているものの一部に持ち直しの動き。	0.56
四国	↘	→	↘	↘	↘	↗	中国向け輸出の増加などにより持ち直しの動きが見られる業種があるが、多くの企業で業況の回復を今年度下期から来年度以降とみるなど、全体としては低迷。	0.56
九州	→	↘	↘	↘	↘	↗	在庫調整の進展により、生産は持ち直しの動き。業況も製造業の一部に改善の動きがみられるが、設備投資は減少。消費は低調に推移し、雇用は厳しいが続いている。	0.42
沖縄	↘	↘	→	↘	↘	↘	観光需要は低迷。個人消費は、節約志向が根強く弱含み。個別企業毎の業況感に差が出てきているものの、全体として緩やかに後退。	0.27

※月間有効求人倍率 4月(季節調整値)資料 厚生労働省「職業安定業務統計」により作成